

ツアーデスクの現状は？

町長

まだ実績に結びついていない

西尾 寿博 議員



ゲレンデマジックで婚活を

【西尾】 スキー場など、本町の魅力を生かした婚活ができないか。

【町長】 大山での出会いがカップル誕生につながることは、とても可能性のある取り組みだと思う。

【西尾】 大山観光局の旅行業務は、立ち上げたままでも実績が見えない。補助金の流れしに結びついていないか。

【町長】 まだ営業実績に結びついていないが、

4月から観光コーディネートとして地域おこし協力隊2人を採用し、大山ツアーデスクと連携した事業を展開する。

【西尾】 補助金に頼らない恵みの里公社にするための、今後のスケジュールは。

【町長】 経営内容や収益構造などを見直す時期に来ている。

公社役員と検証協議する。

診療所の運営は？

町長

あらゆる方法を検討する

【西尾】 大山診療所は大幅な赤字が続いている。町民に覚悟とメッセージを伝えるべきではないか。

【町長】 地域医療資源を守ることは行政の重要な使命であるが、経営を無視した運営はできない。

健診センターなど、あらゆる方法を検討したい。

【西尾】 地域自主組織には、いつまで行政が支援するのか。また、公民館運営とのかかわりは。

【町長】 平成25・26年度の補助事業を検証し、



大山診療所

平成27・28年度のモデル事業として活動を支援する。

平成26年度から集落支援員を配置し、公民館との連携を進めている。

【西尾】 拠点とする建物の老朽対策も考えなくてはならないが。

【町長】 モデル事業の予算を活用し、施設の改修などに対応していく。